



「小学校統合」で、「義務教育学校開校」で 小長井地域の学校教育が変わります!

・・・小長井地域の子どもたち一人ひとりの明るい未来につながる義務教育をめざして・・・

◆ 小長井地域は児童生徒数の減少に伴う学校の小規模化が進行

学校の小規模化は、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな対応が行いやすいなど、一定の利点がある一方、同学年に同性がいなかったり、授業形態や学校行事に制約があったりするなど、集団生活の中で社会性を育むという面での影響が考えられます。地域の核としての性格を有することが多い学校と、自治会をはじめとする各地域団体との連携や協働は、今後の教育活動において重要度を増してきています。

このような「学校規模」や「地域の実態」等、様々な現状を踏まえ、保護者や地域の皆様とともに、子どもたちを主役とした『学校づくり』をめざしてまいります。

令和7年4月 小長井3小学校 統合

教育環境整備後

諫早初

令和10年4月 義務教育学校※ 開校

※ 義務教育学校は、校長が1人、1つの教職員組織で、9年間連続した教育を行う学校のこと

◆ 小長井地域 学年ごとの児童・生徒数推移 [R5.3.13 現在] 【学校改革推進室推計】

小長井地域3小学校統合で、子どもたちはこれまで以上の集団の中で活気に満ちた活動ができます。

小長井地域 学年ごと児童生徒数・学級数推移 (学級数は特別支援学級除く)


[小学校：長里小・小長井小・遠竹小 中学校：小長井中]


学級編 制基準 (県)	R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		
	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	
単位	人	学級	人	学級	人	学級	人	学級	人	学級	人	学級	人	学級	
小1	30	29	1	19	1	24	1	24	1	25	1	19	1	15	1
小2	35	20	1	29	1	19	1	24	1	24	1	25	1	19	1
小3	35	23	1	21	1	29	1	19	1	24	1	24	1	25	1
小4	※40	34	1	23	1	21	1	29	1	19	1	24	1	24	1
小5	※40	27	1	35	1	23	1	21	1	29	1	19	1	24	1
小6	35	30	1	27	1	35	1	23	1	21	1	29	1	19	1
3小学校 計	163	6	154	6	151	6	140	6	142	6	140	6	126	6	
中1	35	31	1	30	1	27	1	35	1	23	1	21	1	29	1
中2	40	24	1	31	1	30	1	27	1	35	1	23	1	21	1
中3	40	39	1	24	1	31	1	30	1	27	1	35	1	23	1
中学校 計	94	3	85	3	88	3	92	3	85	3	79	3	73	3	
小中合計	257	9	239	9	239	9	232	9	227	9	219	9	199	9	

※ 学級編制基準(県)：R5に小4 40人→**35**人 R6に小5 40人→**35**人 段階的に減少
R6に小学校は小1を除き35人学級となる

◆ 小長井地域「3小学校統合」と「義務教育学校開校」までのスケジュール〔案〕

学校改革計画			3小学校統合	→		義務教育学校開校	→	
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
交流	3小交流		小中交流					
小1	小1	(年長)	(年中)	(年少)				
小2	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)			
小3	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)		
小4	小4	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)	
小5	小5	小4	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	
小6	小6	小5	小4	小3	小2	小1	(年長)	
中1	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	
中2	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	
中3	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	

『小長井3小学校統合』時期：今年度の小学校1年生が、小学校3年生になる時 印  印

『義務教育学校の開校』時期：今年度の小学校1年生が、小学校6年生になる時 印  印

◆ 統合や小中一貫教育(義務教育学校)のメリット

※ 統合のメリット:

統合により児童数が多くなることで、学習、生活、行事の可能性がより広がります。

- 学校生活全ての場面で、友だちや先生との関わりが多様になります。
- クラスの人数が増えることで、コミュニケーションの幅がより大きくなります。
- 教職員数が増えるため、より多くの大人の目で子どもたちを見守ることが出来ます。

※ 小中一貫教育(義務教育学校)のメリット:

〔文部科学省：「小中一貫教育の導入調査」(H29.3)〕

- いわゆる「中1ギャップ」の緩和につながります。
- 9年間で連続するため、学習規律・生活規律の定着を図ることが出来ます。
- 上級生が下級生の手本となろうとする意欲が図られ、下級生は上級生へのあこがれが芽生えます。
- 児童生徒の思いやりや助け合いの気持ちが自然と生まれます。

